



## 陳述制度の政令市比較

政令市	請願・陳情件数	陳述制度	持ち時間	議事録
札幌市	32	×		
仙台市	1	×		
相模原市	29	×		
新潟市	50	○	5分	作成
さいたま市	87	×		
千葉市	37	○	5分	作成せず
川崎市	198	×		
横浜市	80	×		
静岡市	17	○	特に定めなし	作成
浜松市	10	×		
名古屋市	115	○	3分	作成せず
京都市	79	×		
大阪市	225	×		
堺市	133	×		
神戸市	160	○	5分	作成
岡山市	151	×		
広島市	18	○	5分	作成
北九州市	36	○	5分	作成せず
福岡市	103	○	3分	作成せず

(資料…千葉市議会事務局) 請願・陳述件数は平成22年

## —使いやすい意見陳述制度に改善を—

### 市民ネットの大きな成果

千葉市は、平成22年の第4回定例会から、陳情・請願者は意見を述べることで、市民ネットワークが主張してきた、市民が議会で意見を言える機会が実現したのです。

今では千葉、名古屋など8市がこの制度を取り入れています。まだ11の政令市は認めてい

ないので、千葉市は先進的といえます。

政令市の市民などによる陳情は平成22年までの5年間に5598件、請願は4709件ありました。市民の要望を市に申し入れる機会が増えたことは、市民ネットワークの大きな政策効果と言えるでしょう。

### 意見陳述の規制緩和を要望

意見陳述をした人からは、使いにくいという意見が出ています。陳述持ち時間がわずか5分では意をつくした説明はできません。最低限10分は必要です。政令市以外には、市民への配慮が行き届き10分という市もあります。

千葉市の場合、陳述は委員会の休憩時間中に行われるため、議事録は作成されません。一方、

神戸市などでは、議事録に市民の陳述が記載されています。議事録は市民に公開されるので、神戸市は市民の知る権利をより尊重していることとなります。千葉市も市民の知る権利をもっと尊重すべきでしょう。

市民ネットワークは、これからも使いやすい意見陳述の改善に向けて、提言を続けていきます。

露崎達郎

## 情報を地域すみずみまで共有できるしくみを

区長訪問しました 2012年3月5日  
市民生活を身近で支えている区役所の役割や中央区の課題について意見交換を行いました。

### 放射線量について

Q: 中央区でホットスポットや、除染した地域はありますか?

A: ホットスポット※は確認されておらず、除染した地域もない。市では簡易放射線測定器や積算線量計を貸し出しているが、利用した市民からは「1週間で0.1マイクロシーベルト前後。特に気になるところはなかった」など、数値を確認して安心したとの声が多かった。

※国のガイドラインでは、地表から1m高さの空間線量率が周辺より1マイクロシーベルト/時より高い値の所

放射線測定器の貸し出しは1日限りなので、貸出し期間をもう少し長くしてはどうでしょうか。また、食品による内部被ばくを心配する声も多いことから、今後は市民が持ち込む食品や土壌なども測定して欲しいものです。

### 高齢者が地域で活躍するには

Q: 元気な高齢者の方々の力を、発揮してもらうためには?

A: ことぶき大学や社会福祉協議会の講座を通して、実際のボランティア活動につながるよう働きかけをしていく。社会福祉施設でのお手伝いもしていただけたらと考えている。

今まで地域社会と関わってこなかった退職したての元気な高齢者には、「何かやりたい」と考えている時にこそきっかけ作りが必要です。初めて地域に飛び込む人には、まず仲間づくりの支援が大切で、いきいきプラザ等の講座内容を見直して、実際のボランティア活動につながるような働きかけが求められます。

### 千葉駅と周辺の開発について

Q: 千葉駅西口に建設されるビルと駅前広場の整備はどのように進んでいますか?

A: 平成25年秋に店舗・事務所・ホテル等のビルの竣工を目指している。栄町・中央銀座商店街への影響も考えられることから、店主さんたちとアイデアを出し合い、活性化につなげていく努力をしている。

中央区は、交通の便もよく、仲間で集まったり交流できるスペースもあります。また県・市の施設も集中していて暮らしやすい地域ですが、まだ十分その魅力を活用しきれていないように思われます。人も施設も丸ごと中央区の資源と考えると、もっとすてきなまちになるはず。

区内の課題解決やまちづくりに取り組む市民活動に対し、活動資金の支援を行う事業「みんなで創る中央区づくり」も3年目を向かえ、すでに今年度の募集も始まっています(書類審査等あり)。20万円を上限に支援されるそうなので、ぜひこうしたチャンスも多くの方が活用していけたらいいですね。



区長と懇談

## これからの公民館を考える

4月1日(日)、幕張公民館にて千葉市公民館を考える会主催の「第2回公民館フォーラム」が開かれました。

千葉大学の学生から「千葉県内(9市)の公民館は東日本大震災でどう対応したか」についての調査報告がありました。地域の人たちが公民館を頼りに避難してきたことや、日頃から避難所として準備していた館もあったそうです。

今回の経験で、公民館がますます市民に近い存在と認識されたようです。公民館は、社会教育(大人が学び続ける)の場としての役割を持っています。地域の人たちが興味・関心を持つことがらに留意して、社会参加のきっかけづくりをし、多様な世代が立ち寄り交流できる場所になることが求められています。



## お知らせ

### ◆千葉市議会 議会報告会

4月26日(木) 13:30~15:30  
市民ネットワーク千葉県4階会議室  
どなたでも参加できます。

### ◆いのちの林檎

(化学物質過敏症の方のドキュメンタリー映画)  
4月26日(木) 10:30~、18:30~  
協力金1000円 会場: 船橋市勤労市民センターホール  
主催: 生活環境を健康にする会  
(seikatsukankyo@gmail.com)

さようなら原発  
1000人アクション



私たちは、脱原発を実現するため今後も粘り強く活動を続けます。

引き続き1000万人全国署名もおこなっていますので、ご協力よろしくお願いいたします。署名用紙ご希望の方は事務局までご連絡ください。また、空間放射線量測定にも出向きます。

編集: 工藤由季乃

